

第22回 特別企画展 「なぜ？なに？レントゲン写真」 －エックス線検査はどうして必要なの？－

平成19年11月8日(木)より一年間、愛知県歯科医師会館3階、歯の博物館で、第22回特別企画展、“「なぜ？なに？レントゲン写真」－エックス線検査はどうして必要なの？－”を展示しております。

X線検査は、歯科治療にはなくてはならない検査方法ですが、これにはどんな種類があって、どのようにして写真に写り、どんな利点や欠点があり、どのように進化してきたかをわかりやすく説明したのが、今回の特別企画展です。

第22回特別企画展 「なぜ？なに？レントゲン写真」



展示内容

1. カラーパネル

以下のような7枚のカラーパネルで説明しています。

① プロローグ

- 1) X線は電磁波のひとつです～電磁波の種類
- 2) どのような使い方があるのかな～X線利用の実際
- 3) 生活と放射線の関係～放射線による細胞への影響
- 4) X線の実効線量の比較

② X線検査の原理

- 1) X線の発見とその名前の由来
- 2) X線の発生(管球のしくみ)
- 3) X線の透過、吸収と画像のでき方

③ X線検査の種類と適応

④ X線検査の種類と診断

⑤ X線検査の歴史

⑥ X線検査の進化

- 1) アナログからデジタルへ
- 2) 歯科・頭頸部用小照射野X線CTの開発
- 3) X線を使わない画像診断装置

⑦ エピローグ

2. 実際に体験してみよう

① 自然放射線測定コーナー

「はかるくん」という装置を使って、自然界のガンマ線(肥料、入浴剤など)を測定できるコーナー(写真参照)。



② X線写真は影絵？コーナー

電球の光を歯牙模型に当て、その影をすりガラスに映し出すことによりX線画像形成の原理を理解するコーナー(写真参照)。



3. 寄贈X線装置の展示

①朝日レントゲン社製国産発のパノラマX線装置(右写真参照)

②トロフィー社(フランス)製世界初の歯科用デジタルX線装置(下写真参照)

(フィルムの代わりに初めてCCDを使用したもの(RVG25000))

その改良型(RVG32000、RVGimager)2台



4. DVDによるプレゼンテーション

DVDでわかりやすく説明しています